



—多様性を認める教育を！— ～「同調圧力」と「生きづらさ」へのアプローチを～



12月19日の本会議で三点にわたり市の認識を問いました。

まず教育については、元気に入學してくる小学一年生が、義務教育の9年が終わる頃には、疑問について質問したり、自らの考えを述べたりすることに困難を感じるようになってきているのではと指摘。日本式の学校教育や行事が規律や他者への配慮を重んじており、そのことが日本の強みになっている一方で、自由に自己表現したり、多

様性を認め合う力を弱めているのではないかと教育長に問いました。学校の様々な文化が同調圧力となり、「自分らしくあること」を阻害し、そのことがコミュニケーション力の低下にもつながっているのではないかと。子どもが「生きづらさ」を感じ、いじめや不登校といった形で出現しているのではないかと、というのが私の問題意識です。

次に行革については、増加する非常勤職員の課題について尋ねました。豊中市の非常勤職員の割合は約4割に達します。災害時等のサービス継続のためにも、臨時的な業務でない限り、常勤を基本とすべきだと求める一方で、非常勤職員が公募によらず長期にわたって同一職場に従事することが常態化していることから、優秀な人材確保と健全な職場環境の維持のため、ルールを設けるべきだと求めています。

最後に防災について、日常的に「校区」を意識することは難しいため、生活レベル(町内)での自主防災活動を推進すべきと、新たな助成制度を求めました。また、昨今の自然災害時には早期に自主避難する高齢者や障害者が増えているため、現在対応していない自主避難用の毛布や水などを備蓄すべきと要望しました。最後に、地域における避難所開設訓練の促進とともに、ペットの同行避難について予めルール化しておくべきと訴えました。

-12月議会質問内容-

1. 教育
 - コミュニケーション力の涵養について
 - 多様性を認める教育について
2. 行財政改革
 - 職員数の適正化について
 - 非正規職員の配置方針について
3. 防災
 - 自主防災組織について
 - 避難所開設・運営について

南部地域活性化調査特別委員会 ～構想実現へ議会も動く～

9月議会において設置が決まった「南部地域活性化調査特別委員会」の委員に私も選任され、11月15日に開かれた初回の委員会に出席しました。この委員会は、人口減少化と高齢化が市内でも著しい南部庄内地域において、課題解決とともに、子育て層の呼び込みにより活性化を図ろうと市民の皆さんとまとめた「南部地域活性化構想」の実現に向けて、進捗状況の確認や課題等を調査研究するものです。

来年度には庄内さくら学園中学校が第十中校舎に開校するなど、既に動き始めていますが、南部コラボ開設(2022年度)、小中一貫の庄内さくら学園の開校(2023年4月)が続くほか、もう一つの小中一貫校(南校)の開設や学校跡地の利活用なども今後具体的に検討されていきます。議会としても地元の皆さんの声に耳を傾けながら、南部はもとより、市全体の活性化に寄与できるよう取り組みを進めます。



最近のアルバムから ～現場へ、皆さんとともに～



乗合いタクシー出発式
地域の足の確保へ他地域でも展開予定



松愛会北大阪支部 車椅子贈呈式
800Kg/台のプルタブ収集で3台目の贈呈



関西学院同窓会北摂支部懇談会
岸本団長のもとに応援団3部の圧巻の演舞

本年も一年間大変お世話になりました。
皆様、どうぞ良いお年をお迎えください。



白岩正三 公式 SNS



スケジュール等は公式ホームページ
普段の活動の様子はFBページ
日常のつぶやきや、緊急情報はTwitter
暮らしのご相談はLINE@



ホームページ

FB ページ

Twitter

LINE@

白岩 正三 プロフィール

1975(昭和50)年生まれ
大阪府交野市出身 44歳

本気に地道に!

- 府立千里高校卒/関西学院大学総合政策学部卒
- エジンバラ大学大学院 アフリカ学修士(英国)
- 松下政経塾出身
- 元)関西学院大学・大阪成蹊大学非常勤講師
- 豊中市議会議員(3期目)



〒561-0802 豊中市曾根東町3-5-3 コマウイング 703号

TEL:06-4865-5550 / FAX:06-4865-5575

(E-mail)info@shiraiwa-net.com (URL)https://www.shiraiwa-net.com

